２ 地理歴史・公民

学校番号	1101

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ｂβ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校 日本史Ｂ 最新版」（清水書院）						
副教材等	「プロムナード日本史」（浜島書店）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
・我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
・国際社会に主体的に生きるに日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート・ノート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 ポスター	定期考査 〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">前期</td><td rowspan="6">近代</td><td>１．近世から
近代社会へ</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="6">a: 明治維新と立憲国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
b: 近代国家の形成と社会や文化の特色から課題を見いだし、開港と幕府の滅亡や国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
c: 近代産業の発展と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている
d: 我が国の立憲国家としての展開についての基本的な事柄を、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会におよぼした影響、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、国際社会の中の日本の立場、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
対外関係の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦の関わりについての基本的な事柄を、国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。</td><td rowspan="6">授業態度
提出課題
小テスト
ノート提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>２．明治維新と
立憲国家の成立</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>３．日清・日露戦争
と東アジア</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>４．近代産業の発展と
国民生活</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>５．第一次世界大戦と
日本の社会</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>６．第二次世界大戦と
日本の社会</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">後期</td><td rowspan="4">現代</td><td>１．占領下の日本</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="4">a: 独立後の政治・社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
b: 我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄を、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
c: 現代の社会や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている
d: 我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄を、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。</td><td rowspan="4">授業態度
提出課題
小テスト
ノート提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>２．日本の独立回復と戦後政治</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>３．経済大国日本への道</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>４．現代の世界と日本</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。